

国内実態調査報告書

テーマ : 軽井沢開発 100 年の歴史と軽井沢に本社を置くグローバル企業の訪問調査
ゼミ名 : 鯉渕 賢 ゼミ
調査日 : 2024 年 9 月 11 日 (水) ~ 9 月 12 日 (木)
調査先 : ミネベアミツミ株式会社本社 テクノロジーセンター
株式会社西武リアルティソリューションズ (軽井沢プリンスショッピングプラザ運営会社)
授業科目名 : 課題演習 I
参加学生数 : 5 名 (2 年生)

調査の趣旨 (目的)

ミネベアミツミ株式会社本社のある長野県御代田町 (軽井沢町の隣町) に 2022 年に祖業のベアリング分野のテクノロジーセンターが新設された。地域企業として創業し、グローバルに展開する日本企業が本社のある地域に研究開発拠点を立地した事例について、イノベーションの観点から訪問調査を実施する。また、西武グループは軽井沢地域を 100 年に渡って開発してきた企業であり、軽井沢プリンスショッピングプラザは 1997 年に開業し 7 度以上の増設を行うなど、地域観光の成功例として知られている。都市計画、地域開発、観光、インバウンドなどの観点から訪問調査を行う。イノベーションについて学ぶ授業に密接に関係する訪問調査である。

調査結果

ミネベアミツミ株式会社本社 (長野県御代田町) を訪問し、社員の方からミネベアミツミの事業のうち、御代田町で主に製造を行っている機械加工分野 (ミニチュアベアリング等) についての事業の説明を聞き、世界に展開する製造拠点のマザー工場としての機能等についても詳細な説明をいただいた。その後、工場内を見学させていただき、工作機械等のメンテナンスや交換部品についての製造開発の部署など、製造現場の詳細を見ることができた。昼食はカフェテリアで社員の方と一緒にいただくことができ、社内の雰囲気や就労環境などについての情報交換となった。午後は、テクノロジーセンターの所長等からミネベアミツミ社の研究開発体制と研究開発目標についてのご説明をいただき、質疑応答が行われた。グローバル化された日本企業の本社工場がどのように機能しているのかを学ぶ貴重な機会となった。

西武リアルティソリューションズの社員の方に、同社が運営する軽井沢プリンスショッピングプラザ (以下、PSP) 内の会議室で、西武グループの軽井沢開発 100 年の歴史や、PSP の設立経緯やその後の発展の仕方等についてレクチャーをいただいた。近年の西武グループの経営改革と組織改編を経て、不動産部門が再び同社の中核事業となっていることを、経営戦略の観点から学ぶことができた。不動産業という金融分野のビジネスでありながら、教室では学びにくい事業の本質について軽井沢という著名観光地と大

規模ショッピングモールの運営という観点から様々な知見を得ることができた。

